

第2回 学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和6年10月11日（金） 午前9時30分から午前11時30分まで

2 会 場 静岡県立吉田特別支援学校会議室



3 参加者

○委員

【保護者】	畑 和幸 様	P T A会長（欠）
【地域住民】	桐田不二雄 様	吉田町片岡区自治会長
【学校運営に資する活動者】	藁科 知行 様	駿遠学園管理組合園長
【学識経験者】	山田 浩昭 様	浜松学院大学教授
【その他】	木村 祥吾 様	木村飲料株式会社 常務取締役（欠）

○学校

校 長 伊藤 聖子	副校長 松本比呂美	事務長 土戸 美樹
教 頭 鈴木 淳也	分教室教頭 杉本友紀乃	小学部主事 和田加恵子
中学部主事 小野田朋弘	高等部主事 田中 康暁	肢体訪問統括 安池 郁乃
教務主任 松浦 ゆか	コーディネーター 岡本 広美	進路指導主事 野田 清志

4 議事録 *司)司会 委)委員 学)学校職員 生)生徒

(1) 校長挨拶

- ・2学期子ども教員共に落ち着いたスタートがきれた。地域のサービスの充実も力となっている。
- ・新型コロナ感染者はゼロではないが、校内の流行は防げている。地域活動も盛んに行っている。

令和6年度学校経営計画中間報告

【本校】

- ・「安心・安全」アでは、高等部から私の人権宣言を行い、人権意識の向上をねらっていること、「安心・安全」イでは、SB乗車指導や登校指導を実施していること、毎日の体調の把握について、保護者との情報共有を密にしたり、肢体不自由では、教職員間、養護教諭、看護師との連携を図ったりしていること、「安心・安全」ウでは、危機管理の視点からより実践的な防災教育に取り組んでいること、「安心・安全」エでは、中学部より内容精選を行って授業を行い、最小限の会議回数を設定し、隙間時間の打ち合わせや話し合いを行っていることを説明した。
- ・「授業」アでは、小学部より公開授業研の様子について、「授業」エでは、高等部より、生徒自身が1人1台の端末を使用し、基本的操作やルール、ネットやSNSの危険性等を学び、BYODを意識して取り組んでいることを報告した。

- ・「連携」イでは、キャリア教育課から本校のキャリア教育について、「連携」ウでは、地域連携課より、地域貢献活動について報告した。

【分教室】

- ・「安心・安全」アの人権では、すんえん3ヶ条の確認を行い、今後も継続していくこと、「安心・安全」ウでは、駿遠学園や職業訓練校と分教室で合同の防災訓練を行い、危機管理意識を高めていることを説明した。
- ・「授業」アでは、児童生徒の思考・判断・表現を引き出すための授業、「授業」エでは、すんえんタイムの実施を年間6回行い、児童生徒が理解を深めたり気持ちを伝えたりすることにICTを活用、「連携」アでは、地域資源の活用を目指して、地域の作品展を行っていることを報告した。

(2) 令和6年度もえぎ祭りの紹介

- ・開校以来10回目のもえぎ祭りなので、広く皆さんに知っていただき、たくさんの人とふれあいたいと考えていることや、当日の日程について説明をした。

(3) 校内参観（様子）



(4) 協議 進行：会長（藁科様）

ア 学校経営計画中間報告を受けての意見交換

司) ここまでの感想

委) ・どの学部もよくやっている。小学部の低学年もこの時期になると座っていた。日々の指導の成果が出ていると思われる。

・掲示物を見て子どもたちが「こんなのやってみよう！」と思うものを考えて掲示していると思った。

委) ・生徒のやる気が伝わってきた。そのように指導していると思われる。

・今後も地域で協力できることがあれば手伝わせてほしい。

委) ・学校の役割がかなり大きくなってきている。子どもの命と安全を守ることが大変。

・学びの中心は、授業にあると思う。

・今はどこのフィールドも人がいない！教師は、やりがいを持って人を集めるしか方法がない。豊かに語ってアピールをしたほうが良い。

・学校では、学習の保証をしてほしい。大人の思いだけでなく、子どもの思いもふまえてやって欲しいと願っている。

・学びの深まりを感じた校内参観だった。

イ 本校の進路指導について

学) キャリア教育課長よりキャリア教育について、進路先を知り自分で選択していること、卒業後に向けて資料をもとに説明。



ウ 学校が実施している地域貢献活動について

学) 地域連携課長より学校が実施している地域貢献活動について説明した。

- ・高等部で行っている地域作業について
- ・小学部ではグループホーム、中学部では特別養護老人ホームへ訪問していること
- ・近隣の学校からの教育相談の依頼を受けていること

学) 高等部3年生の生徒5名から職場実習へ行ってきたことを報告。

司) 「①難しかったこと、②褒められたこと」を質問。

生) ①お茶の原料を投入する作業を行った。コツをつかむまでは苦戦した。柔らかいところを叩くと入れやすいというコツをつかむと、入れやすいことが分かった。

②挨拶が良いと褒められた。飲み込みや覚えが良いと褒められた。

①袋づめが作業スピードが遅くて難しかった。

②正確にできていると褒められた。

委) これからの学校生活でこれだけはがんばるぞということを教えて下さい。

生) 農耕班の班長なので、もえぎまつりで売るサツマイモの収穫を頑張りたい。

生) 工芸班の班長なので、進捗状況を見て報告をすることを頑張りたい。

生) 木工班でパネルソーを担当しているので、残っている資材の状況を見て材料を切ることを頑張りたい。

司) 改めて説明を受けて感想を聞かせて下さい。

委) 自分の事しか考えていない大人が多い中で、生徒の発表を聞いて素晴らしいと思った。

地域の人とどういう形で共生していかないといけないのか考えていきたい。

委) 地域のために役立っていることがよく分かった。

地域の中で吉田特別支援学校の存在が大きくなっていると感じた。キャリアでは、「よし！やるぞ！」の仕掛けの工夫がたくさんあることが高等部につながると思う。体を使った経験をたくさん行うことが大切。色々なことを経験することが大切。将来、そこから絞っていけばいい。

委) 実習先では、かなり色々な仕事を任されている。障害者も色々なことができると認められつつある。新しい働き先にどうこたえていくのか、見方や方法を変えたら働くことができるかも知れない。やめ方を教えることもキャリア教育なのかもしれない。子供は、地域の大切な

人材。どういう風に支えていくのか生きがいをもって生きていって欲しいと願っている。

校長よりお礼の言葉

- ・もっともっと地域へ発信していけるように今後も努力していきたい。
- ・学校が活気づいているのは、子どもたちが学校を支えているから。そのことを子どもたちが分かって活動できるといいなと思う。
- ・今後も地域と手を取り合って活動していきたい。何かご意見アイデアなど思いついたらいつでも連絡をして欲しいことをお伝えした。